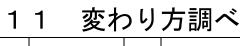
4年 ジャンプ

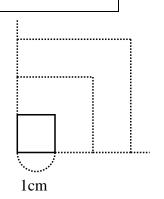


 学
 組

 年
 A

- 1 1辺が 1 cm の正方形があります。 1辺の長さを 2 cm, 3 cm ・・・ にのばすと, まわりの長さが どのようにかわるか調べてみました。
 - (1) 1辺の長さとまわりの長さを、表にまとめましょう。

1辺の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	
まわりの長さ(cm)	4	8	1 2	1 6	2 0	2 4	,



)

1辺の長さの4つ分で、まわりの長さになります。

(2) 1 辺の長さが 1 cm ずつふえると、まわりの長さはどのようにかわりますか。 (4 cm ずつふえる)

1辺の長さが1cmずつふえると、まわりの長さは1cmの4つ分で4cmずつふえます。

(3) まわりの長さは、1辺の長さの何倍になっていますか。

まわりの長さは、1辺の長さの4つ分なので、4倍になります。

(4) 1辺の長さを \square cm, まわりの長さを \bigcirc cmとして, \square と \bigcirc の関係を式に表しましょう。

$$(\square \times 4 = O)$$

まわりの長さOcmは、1辺の長さDcmの4倍になるので、 $D \times 4 = O$ になります。

(5) 1辺の長さが24cmのときの、まわりの長さを求めましょう。

<考え方> **24×4=96**

<答え> 96cm

まわりの長さは、1辺の長さの4倍なので、24×4=96cmとなります。

- 2 1 cmのひごを20本ならべて、長方形や正方形を作ります。(1) 下の表は、たての長さを1 cm、2 cm、・・・と、1 cmずつ長くしていくときの、横の長さのかわり方を表しています。ア、イ、ウにあてはまる数を答えなさい。

たての長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
よこの長さ (cm)	9	ア	7	6	5	4	ウ	2	1

ア(8)イ(7)ウ(3

1㎝のひごを20本ならべて、長方形や正方形を作るので、まわりの長さは20cm にな ります。たては2つの辺、横も2つの辺があるので、たての1辺と横の1辺を合わせると20 cmの半分の10cmになります。アはたてが2cmのときなので8cm、イはたてが3cm のときなので7cm, ウはたてが7cmのときなので3cmになります。

(2) 面積がいちばん広くなるのは、たて、横の長さがそれぞれ何cmのときでしょう。

たて (5 cm) よこ (5 cm)

(1) の表を見ると、たてが1 c m から2 c m, 3 c m・・・とかわるとき、 面積は9 c ㎡、16 c ㎡、21 c ㎡とかわり、面積がいちばん広くなるのは、 たて5cm、横5cmのときに25cmとなることが分かります。